平成30年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日)

1. 総務関連

- ① 「平成 26 年度に開始した一般社団法人への移行に伴う継承財産に係る公益目的支出計画:第4年度の前平成29年度をもって完了し、担当官庁の内閣府より平成31年2月15日付けにて「平成30年3月31日」もって完了した旨の確認を得た。今後は整備法123条の適用はなくなり、一般社団法人および一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号)により活動することになる。
- ② 会員数:年度末現在で98名(個人会員91名、法人維持会員7名、前年比4名増)(個人会員5名増、法人維持会員1名減)(入会・個人会員12名、法人維持会員1名、計13名、退会・個人会員6名、法人維持会員2名、重複取消・個人会員1名、計9名)で、宿願の100名達成まであと2名となった。

2. 当協会主催事業

- ① ボリビア映画上映会: 2018 年 8 月 31 日 西麻布:ラテンアメリカサロン。前回に続き、ボリビア・ウカマウ集団の作品『地下の民』を、太田昌国氏の解説付きで上映、終了後は太田氏を囲んで軽食付きで懇談会を開催。会員・一般合わせて 36 名参加。
- ② X'Mas イベント 2018 年 12 月 6 日 東銀座: サロンド・ド・ジュリエ

当協会理事の細野豊氏による講演会を、「ボリビアとペルーの日系詩人―その詩から見える 日系詩人のアイデンティティー」と題して開催。次いで、福田大治氏のチャランゴ演奏を聴きな がら参加者が会食と会話を楽しむ懇親会へ移行。予定していた 40 名を超え会員・一般合わせて 50 名が参加。

- ③ ボリビア料理の集い 2019 年 3 月 9 日 台場:ダイバシティ東京。折からの春の強風のなか、 皿の上のシュラスコやサラダが飛ばされないように必死に抑えながら 2 時間格闘しつつ楽しん だ。会員・一般合計 19 名が参加。
- ④ 会報 Cantuta 発行: 2018 年度は 32 号 (6月)、33 号 (9月)、34 号 (12月)、35 号 (2019 年 3月)の年 4 回発行を達成。会員へ配布するとともに、日本とボリビアの関係団体への定期配布、主催・後援・協賛イベント時の参加者へも配布。協会 HP からの密度の濃い情報発信を目指し、ボリビアに関する情報収集ニーズに応えられるように、関連ニュースサイトとのリンク挿入や、ラテンアメリカ協会との情報交流のもと、ボリビアのみならずラテンアメリカ全体に関するイベント情報の共有を図り、情報を速やかに告知できるように努力。また協会の公開資料などを随時更新。
- ⑤ ボリビア訪問・交流:2018年7月3日~22日:杉浦専務理事が、毎年恒例のラパス・コチャバンバ・サンタクルス・オキナワ・サンファンに加えて、リベラルタでの日本文化祭に参加すると

ともに、新しく日本人会ができたルレナバケとスクレを訪れ、各地の日本人会、日本大使館・領事館、JICA 事務所を訪問して懇談した。翌 2019 年 10 月の大統領選挙を控えて、各地で政治的緊張が徐々に高まりつつある気配が肌で感じられた。

⑥ 2018 年度理事会・定時総会: 2018 年 5 月 29 日 内幸町・米州開発銀行: 定例の前年度事業報告と収支決算承認、当年度事業計画と収支予算の報告、任期満了に伴う 2 年に一度の新役員選任と職務選定を議決承認。

3. 他団体主催事業への後援・協賛など

- ① Bolivia Festival 2018: 2018 年 10 月 14 日 港区芝公園広場。今回が 4 回目の開催、在日ボリビア人有志による実行委員会が主催。当協会も出店し、例年同様に多数の在日ボリビア人、日系人、ボリビアに関心ある日本人、当協会会員等が来場し、参加者総数は約 3000 人。椿秀洋会長が挨拶。
- ② Chagas 病検診 2018 年 4 月 28 日(三重県・鈴鹿市)、5 月 19 日(神奈川県・秦野市)、6 月 23 日(名古屋市・中川区)で開催。: NPO 法人 Maiken が主催し、在日ボリビア大使館とともに協賛して、日本各地のボリビア人集住地域で開催。毎年各地とも約 15~20 名の在日ボリビア人が受診して、受診者総数の約 10%の感染者(主に母子感染)が発見され治療へ誘導。在日ボリビア人社会から感謝されている。長崎大学熱帯病研究所も参加。
- ③ キヌアカフェ:2018 年 12 月 15 日の他に 2 回開催 西麻布・ラテンアメリカサロン。日本キヌア協会が主催して年 1-2 回開催。ボリビア特産品の雑穀キヌアの普及のための PR 活動に協力。日本各地からキヌアの栽培や料理に関心をもつ学者・研究者・農業高校生、農業団体・農家、料理研究家など約 30 名が参加。学生の栽培体験発表、キヌア料理試食、ボリビア映画鑑賞、懇談など。

4. ボリビア関係個人・団体への協力・支援・連携

- ① コチャバンバ・聖マルティンの家の水害 (2018 年 2 月) 復興募金への協力:2018・8・31 開催の当協会主催映画会の参加者へ、来日中の代表者・野原昭子氏が募金への協力 依頼をする機会を提供。予想を大きく上回る募金(参加者 42,000 円+当協会協力 50,000)に成功。野原氏支援の在日団体 Elpis 会(代表・俵靖子氏・野原氏の実姉、本部・福岡県水巻町)とも連携
- ② サンタクルス市在住・カリタス修道女会のシスター・パオラ樫山氏へオガールファティマ(孤児院)への募金協力:2019・2・10 川崎市鹿島田教会で当協会会員の玉城俊幸・フスティナ夫妻主催のチャリティ会合に杉浦篤専務理事、長嶺為泰常務理事夫妻が参加
- ③ 在ボリビア・ラパスの日系旅行代理店による詐欺事件への警告 PR に協力:在ラパス日本大使館からの情報、被害者の日本人やメキシコ在住日系人からの被害情報に基づき、当協会ホームページ上に警告を掲載するともに、在日の日本人・日系人・ラテンアメリカ関係者へも個別に注意を喚起。

- ④ 在日ボリビア人主宰の料理教室を訪問:サンタクルス市出身のボリビア人女性による教室を杉浦 専務理事・細萱恵子常務理事と訪問し今後の連携を検討。
- 5. 協会活動に関連し、協会として、または会員が参加した主なイベント
 - ① 4・1 ボリビア・アンサンブル・トリオ来日公演 四谷・絵本ホール 杉浦専務理事参加
 - ② 4・19 ボリビア大使館主催 海の日イベント 市ヶ谷セルバンテス協会 杉浦専務理事参加
 - ③ 8·5 同上 独立記念日小 ント 桑名市 NTN 運動場 椿秀洋会長挨拶·杉浦専務理事参加
 - ④ 8·11 在日前 沪广7人有志主催 独立記念日 个 ント 墨田区施設 杉浦専務理事参加
 - ⑤ 8・11-12 ボリビア・オキナワ県人会移住 110 周年記念式典 長嶺常務理事・渡邊相談役参加
 - ⑥ 10・13 川崎市主催国際フィエスタ 2018 幸公民館 杉浦専務理事参加
 - ⑦ 10・22 ラテンアメリカ婦人協会主催 バザール 東京プリンスホテル、杉浦専務理事他参加
 - ⑧ 12·8 Difar(会員:瀧本規久子氏)東京 報告会 高田馬場ヤマギシ会 杉浦専務理事参加
 - ⑨ 12・26 在ボリビア日本人フォルクローレグループ・Wayra Japonandes 東京公演、実行委員会主催 新大久保・ 淀橋教会、椿秀洋会長他役員 5 名、会員 6 名、同伴者 9 名 計 20 名参加 参加者総数 約 350 名
 - ⑩ 1・30 駐日ボリビア大使館主催 Feria de Alasita 市ヶ谷・セルバンテス協会椿秀洋会長他会員 5 名参加
 - ① 2・5 ラテンアメリカ協会新春懇談会 (同協会主催) 東京会館 杉浦専務理事参加

以 上

貸借対照表

平成30年4月1日~平成31年3月31日

資	産	の	部		
	現	金			0
	預	金			2,580,191
資	産	合	計		2,580,191

負	債	の	部						
	未	払	金						0
負	債	合	計						0
正	味	財	産	の	部				
正	味	財	産						2,580,191
-	(内当期正味財産増減)						68,667		
負值	負債及び正味財産合計							2,580,191	

財産目録

平成31年3月31日

資 産 の 部		
現 金		0
預 金		2,580,191
三菱東京UFJ銀行	2,283,079	
ゆうちょ銀行	297,112	
資 産 合 計		2,580,191

正 味 財 産	2,580,191
未 払 金	0
負債の部	

財産増減計算書

区分	期首残高	期末残高	増減
現金	0	0	0
預金 三菱東京UFJ銀行	1,881,061	2,283,079	402,018
ゆうちょ銀行	647,443	297,112	△ 350,331
預金小計	2,528,504	2,580,191	51,687
合 計	2,528,504	2,580,191	51,687

平成30年度収支計算書

収入の部

平成30年4月1日~平成31年3月31日

科目	30年度予算額	30年度決算額	増減額	決算額についての備考
会費収入	730,000	836,000	106,000	
個人会員	230,000	266,000	36,000	個人会員 65名
維持会員	500,000	570,000	70,000	維持会員 8名
交流参加費	330,000	267,500	62,500	会員・ゲスト参加費
雑収入	50	293	243	雜収入、預金利息
収入合計	1,060,050	1,103,793	43,743	
前期繰越金	2,511,524	2,511,524	0	
収入の部合計	3,571,574	3,615,317	43,743	

支出の部

科目	30年度予算額	30年度決算額		決算額についての備考
1. 管理費				
事務経費				
通信運搬費	40,000	17,044	22,956	
交通費	80,000	86,605	6,605	会長・事務局長名古屋訪問
事務管理費等	80,000	71,633	8,367	2018年度総会資料印刷費等
雑費	20,000	11,170	8,830	
管理費合計	220,000	186,452	33,548	
2. 事業費				
旅費交通費	0	0		内閣府報告無しの為
通信運搬費	0	0	0	内閣府報告無しの為
事務消耗品費	0	0	0	内閣府報告無しの為
ホームページ維持管理費	100,000	110,268	10,268	
支払負担金	70,000	154,116	84,116	臨時支出3件
交流会議費	570,000	442,533	127,467	交流イベント費用等
カントゥタ等発行費	150,000	141,757	8,243	4回発行分
雑費	0	0		
事業費合計	890,000	848,674	41,326	
3. 予備費				
予備費	0	0	0	
支出合計	1,110,000	1,035,126	74,874	
次 期 繰 越 金	2,461,574	2,580,191	118,617	
支出の部合計	3,571,574	3,615,317	43,743	

(平成31年(2019年)度第1回 定時総会 議案1資料

平成 30(2018)年度監查報告書

一般社団法人日本ボリビア協会 会長 椿 秀洋 殿

私たち監事は、当協会の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度における理事の職務執行について監査を行いました。その結果を一般社団法人及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法99条第1項(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法99条第1項)及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第64条において準用する同規則第36条及び第45条)の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると ともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務について報告を受け、 重要な決裁書類を閲覧し、当協会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査 しました。

上記の方法によって、当該年度に係る事業報吉及びその附属明細書を監査しました。 さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行ない、当該年度に係る計算書類及 びその附属明細書並びに財産目録等に付いて監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものど認めます。

- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実 は認められません。
- (3) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録などの監査 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況を 全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2019年5月28日



平成31年/令和元年〈2019年〉度事業計画

(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

I 基本方針

- ① 日本・ボリビア両国の政府・民間企業による政治・外交・経済分野での活動と併行して、非営 利ベースでの文化交流活動を通じて、両国一般市民間の相互理解・友好親善を積極的に促進 し、両国関係の発展・強化を目指す。
- ② 会員各位や官民関係先からの協力を得つつ、役員と会員が密接に連携して弛まぬ努力を積み重ねて行く。
- ③ 前年度末比で4名増となった平成31年3月末の会員総数、98名(個人会員91名、法人維持会員7名)を基に、本年度も積年の悲願である100名の大台達成を目標として会員の増加を目指す。
- ④ 会員加入の「重点対象」として、日本の企業・団体並びに女性・若者・シニア各層の個人に加 えて、在日の日系ボリビア人の方々にも積極的に働き掛けて行く。

上記の基本方針に沿って、自主企画イベントを一層充実させるとともに、ボリビアに関心のある個人並びに関係団体との連携活動を活発化させ、併せて会報やホームページなどのソーシャルメディアを一段と整備して、交流活動を積極的に推進する。

II 具体的事業活動

① 自主企画イベントの充実

参加者に「楽しい、面白い、ボリビアのことをもっと知りたい、できればボリビアへ行ってみたい」と感じて貰えるようなエンターテインメント系イベントとして、ボリビアの「音楽・ダンス・料理・食材」などを主とした協会主催イベントを、年1~2回開催すると共に、一般市民の方々に「ボリビアの文化・社会をもっと知ってもらう」ことができるように、ボリビアを含むアンデス関係の「音楽・映画・写真・絵画・文学・歴史・遺跡・料理・健康」などの文化ジャンルでのイベントを、ボリビアの関係団体・グループ・個人や、駐日ボリビア大使館、外務省中南米局の協力も得て、年1~2回開催することとし、その予算を計上する。

また、自主企画イベントと連動したボリビア訪問旅行、文化・スポーツ活動などについて、旅 行代理店や関係先ともタイアップした活動を推進する。

② 会報 Cantuta の充実

発行回数を年3~4回とするとともに、現地の政治・経済・社会・文化に関するホットなニュースや、関係寄稿をタイムリーに掲載し、さらにボリビア人・日系ボリビア人によるスペイン語記事も掲載して、紙面内容の充実を図るために、担当役員や事務局の強化を図ることとし、そのための予算を計上する。

③ ホームページ (HP) などの充実

更新頻度の少なくとも月1回への引き上げを目指し、業者委託部分と協会の内部作業部分を明確に区分したうえで、担当役員と事務局の強化を図る。

また、会員・非会員を合わせて外部からのボリビアに関する情報収集のニーズに幅広く応え、 同時に協会側からも情報発信を一層タイムリーに広く効果的に行えるようにするために、外部 とのリンクを充実することとし、その予算を計上する。

④ ボリビア情報の提供体制の整備充実、

JETRO、JICA、在ボリビア日本国大使館、駐日ボリビア大使館やラテンアメリカ関係組織・団体などと連携して、ボリビアに興味や関心を有する日本人一般層へのボリビア文化・産品・観光、査証、感染症関係の情報を提供するとともに、日本の地方・中小企業向のボリビア関係ビジネス情報の提供を進め、ボリビアへの進出促進を図る。

⑤ 在日ボリビアコミュニティ間の交流促進への協力

在日のボリビア人・日系ボリビア人、ボリビア移住帰国者やその集住地域と連携し、各コミュニティの文化・スポーツイベントに積極的に参加して交流を深めるとともに、各コミュニティ間の相互間の交流促進にも協力する。この分野で毎年恒例となっている在日ボリビア人有志による Bolivia Festival と、Chagas 病の感染防止活動を行っている NPO 法人 Maiken による在日ボリビア人集住地への訪問集団検診に協力するともに、本年は、日本人ボリビア移住 120 周年に当たることに鑑み、右を記念して日本ラテンアメリカ文化交流協会主催で開催される Festival de Camino a Latinoamerica へ特別に参加協力することとする。

⑥ ボリビアを含むラテンアメリカ関係団体との連携協力 ラテンアメリカ関係諸団体との相互情報共有を行い、関連団体との連携協力を行う。

⑦ 日本人ボリビア移住 120 周年記念式典

2019年7月17日にサンタクルス市で開催される、日本人ボリビア移住120周年記念式典にご臨席のため眞子内親王殿下がボリビアを訪問される予定のところ、協会関係者もその時期に合わせてボリビアを訪問し、在ボリビア日本国大使館、JICA、ボリビア各地の日本人会など関係先を訪問する。

⑧ 在ボリビア日系人社会と、在日ボリビア人社会との間の交流の維持発展促進 当協会役員・会員のボリビア訪問を毎年定例化し、関係組織・団体や、個人との友好親善関係 の維持発展に努める。

⑨ 日本マスコミ・メディアのボリビア関係取材への協力 ボリビア関係情報の提供を通じて、ボリビアについてのPRを働きかけ、日本におけるボリビ アの文化・社会・経済・政治への理解や認識の向上を図る。

令和元年/2019年度予算

収入の部

科目	30年度予算額	30年度決算額	31年度予算額	備考
会費収入	730,000	836,000	810,000	
個人会員	230,000	266,000	270,000	
維持会員	500,000	570,000	540,000	1維持会員退会
交流参加費	330,000	267,500	330,000	
雑収入	50	293	0	
収入合計	1,060,050	1,103,793	1,140,000	
前 期 繰 越 金	2,511,524	2,511,524	2,580,191	
収入の部合計	3,571,574	3,615,317	3,720,191	

支出の部

科 目	30年度予算額	30年度決算額	31年度予算額	備考
1. 管理費				
通信運搬地	40,000	17,044	30,000	
交通費	80,000	86,605	70,000	
事務管理費等	80,000	71,633	80,000	
雑費他	20,000	11,170	20,000	
管理費合計	220,000	186,452	200,000	
2. 事業費				
ホームページ維持管理費	100,000	110,268	120,000	
支払負担金(友好親善)	70,000	154,116	125,000	
交流会議費	570,000	442,533	600,000	活動計画に基
カントゥタ発行費	150,000	141,757	150,000	~づき増額
雑費				
事業費合計	890,000	848,674	995,000	
3. 予備費				
予備費	0	0	100,000	
支出合計	1,110,000	1,035,126	1,295,000	
次 期 繰 越 金	2,461,574	2,580,191	2,425,191	
支出の部合計	3,571,574	3,615,317	3,720,191	

役員選任・承認とその職務選定

平成28年(2016年)5月に就任後3年間に亘り、当協会法人維持会員である住友商事㈱を代表する理事として当協会にご支援ご協力を頂いた稲葉誠氏が、平成31年4月1日付人事異動により辞任され、後任に同社鉛亜鉛事業部長の椿賢一郎氏を推薦されたことに伴い、同氏を「理事」に選任し、併せて同氏の職務として「外部団体渉外」担当に選定したい。

平成30年度会員入退会状況報告

(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

前年度末(平成30年3月31日)

個人会員 86名 維持(法人]会員 8名 合計 94名

 当期入会
 個人会員
 12名
 注①
 維持(法人)会員1名
 注②
 合計
 13名

 当期退会
 個人会員
 6名
 注③
 維持(法人)会員2名
 注④
 合計
 8名

 重複取消
 個人会員
 1名
 注⑤
 合計
 1名

 純増
 5名
 純減1名
 純増
 4名

当年度末 (平成 31 年 3 月 31 日)

個人会員 91 名 維持(法人)会員 7名 合計 98 名

- 注① 玉城俊幸、小林正博、黒澤啓、清水瀬名、高村和法 大角恵里 廣瀬美雪、伊藤隆洋 村田勝彦 国井利扶 吉岡至修、知名美枝子
- 注② (株)アルジー
- 注③ 佐々木定、金子達之助、樫原ふゆ 田中次郎、清水瀬名、森井勇介
- 注④ 日本ボリビア技術協力会、㈱TAU
- 注⑤ 加地武志

以上